

1. はじめに

春学期も中間に入り、もう半分が終わりました。3月はSpring Breakを挟み、中間までの成績が返されました。また、日本では就職活動が解禁したこともあり、益々忙しくなってきました。

2. 授業

ELCのクラスは学期が半分終わったこともあり、中間の成績が渡されました。自分が理解できている所、まだ理解できていない所をパートごとに評価されました。文法の構造やエッセイの書き方は授業中に何度も書いているので評価が高く、反復練習の効果が出ていると感じました。しかし、単語の使い方については何度も指摘を受けることが多く、評価も一番低いです。文章を書く際に自分で書いた単語のニュアンスが先生からは違うと指摘されることが多く、単語の意味が日本語訳の解釈が違っているなどと思うこともあり、使用法については苦戦しています。

Terrorism, Intelligence, and Warのクラスは内戦についての講義でした。ある内戦についての経緯、時系列ごとの推移、各勢力について地図やデータを用いながら先生が講義し、学生とディスカッションしながら内戦について深く考える授業でした。国際裁判所形式の討議では別グループがスリランカ内戦についてどちらの勢力が非人道的であるのか、正義があるのかを行いました。正直、話についていくだけで精一杯ですが、日本の授業でも扱ったことが無い話なので新鮮で楽しいです。また、このクラスは300番台でカテゴリーは歴史ですが、履修している学生は史学を専攻していない学生というのが驚きです。



図1 Terrorism, Intelligence, and War Class

3. 課外活動

Spring Breakにカナダで剣道の試合がありました。実際に試合に出るのは高校生以来であったので緊張したのと、初めての国際大会でもあり興奮しました。結果は個人戦(2.3段の部)で準優勝、団体戦は2回戦敗退でした。個人戦は優勝を目指していましたが、カナダ人のパワーや体格に圧倒され、最後は力尽きてしまいました。団体戦では、元カナダ代表の方と試合をすることになり逆転負けしましたが、日本では滅多に無い機会になりました。



図2 University of Toronto Tournament

また月末にはオハイオ州の Cleveland でも大会があり、これが留学生活で最後の試合になります。この詳細は次回の報告書で書きたいと思います。

また今月は、剣道を通じて知り合った Eastman school of music の友達のリサイタルコンサートに行きました。この時期は多くの音大の4年生が毎日午前中から夜遅くまで、入れ替わりにコンサートが開きます。コンサートを開き、演奏することが4年生の必須項目になっており、学校の卒業条件になっています。コンサートホールの二階にはカメラが配置されており当日会場に見に行くことが出来なくてもライブストリーム配信しています。ホルン、オーボエの演奏を聴きに行きましたが、どの演奏も美しく聴き惚れてしまいました。どんなに演奏が上手くいっても、まだ一部の学生は進路が決まっていない人が多くいるとのことで、音楽家もまた厳しい世界だなと感じました。



図3 Eastman School of Music

4. 終わりに

今月は剣道の試合や友達のコネサートなど様々なイベントがあり充実した休日を過ごした一方で、授業がより難しいトピックへ入り理解するのに時間を掛かるだけでなく、就職活動が解禁したことによって企業への応募やエントリーシートの準備など忙しい日々を送っています。留学生活も残すところ実質1ヶ月となり、留学前と今で何が成長したのかをよく考えるようになりました。色々考えることが多くなって来ましたが、まずは今の生活を楽しみたいと思います。

以上で3月の報告とします。